

女神さま・オープン(3ヵ月決算型)の運用状況

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)

追加型投信／海外／株式

2018年12月28日

当レポートでは、米国株式市場の足元の動向と今後の見通し、及び当ファンドの運用方針についてお伝えいたします。

トランプ政権の混乱と景気減速懸念により下落

12月の米国株式市場は、大幅下落となりました(12月25日現在)。18～19日に開催された米連邦公開市場委員会(FOMC)において、今後も金融引き締めを行う姿勢が示されたため、景気の先行きへの懸念が高まりました。また、メキシコ国境の壁を建設する費用を巡り、トランプ大統領と議会が対立し、米国連邦政府の支出を手当てする「つなぎ予算」の成立が難航していることも株式市場の不安材料となりました。

全業種が下落する展開となる中、需要鈍化懸念から原油価格が大きく下落したため、エネルギー株の下げが大きくなりました(図表1)。

株式市場は過度に悲観的

図表2は、過去10年間のS&P500種指数と同指数の予想EPS(1株当たり利益)の推移です。短期での乖離はあるものの、長期的にみれば利益の伸びに沿って株価が推移していることが確認できます。

ところが、2018年10月以降は、株価だけが大きく下落しています。一方、EPSは引き続き成長しており、2019年も増益が予想されています(図表3)。

以上の点から、現在の株式市場は、金融引き締めやトランプ政権の混乱によって米国が景気後退に陥るリスクを過度に懸念していると考えられます。

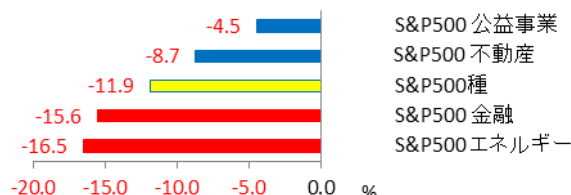
今後の米国経済は減速するものの、景気後退に陥る可能性は低く、現在の株式市場は割安な水準にあると考えられます。

政権3年目の米国株式市場

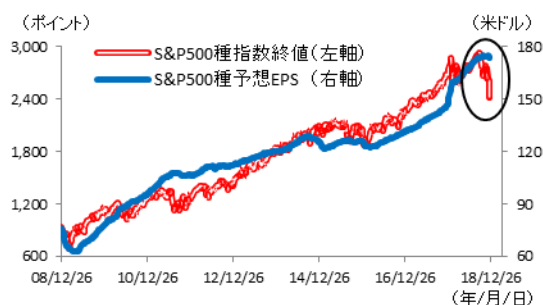
2019年は、トランプ政権発足から3年目であり、大統領選挙の前年になります。大統領選挙の前年の米国株式市場には、有名なアノマリー(経験則)があります。

図表4は、第2次大戦後(1946年)から2017年までのS&P500種指数の年間トータル・リターンを、政権任期年数別に区分したものです。あくまで、過去のデータに過ぎませんが、政権3年目(選挙前年)の米国株式市場は、過去18回全て上昇しています。

図表1 S&P500種指数の業種別リターン上位下位2業種
(2018年11月26日～2018年12月24日、米ドルベース、トータルリターン)

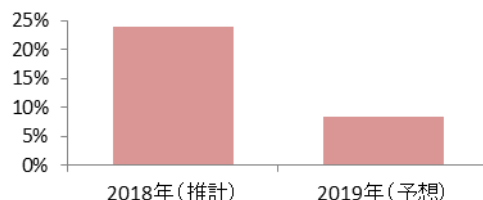


図表2 S&P500種の予想EPSと終値の推移
(2008年12月26日～2018年12月21日、週次、米ドルベース)



(注) 予想EPSは12ヵ月先の予想値を使用

図表3 S&P500種予想EPS成長率
(2018年&2019年、年次、米ドルベース)



図表4 政権任期年別のS&P500種指数リターン
(1946年～2017年、年次、米ドルベース、トータルリターン)

	騰落回数		平均トータルリターン(%)
	上昇	下落	
政権1年目	11回	7回	+10.9%
政権2年目	12回	6回	+9.7%
政権3年目	18回	0回	+19.1%
政権4年目	16回	2回	+10.0%

(注) 任期中の大統領辞任や死去による政権交代のケースは除く
2期連続の場合は、5年目を第2次政権の任期1年目として計算

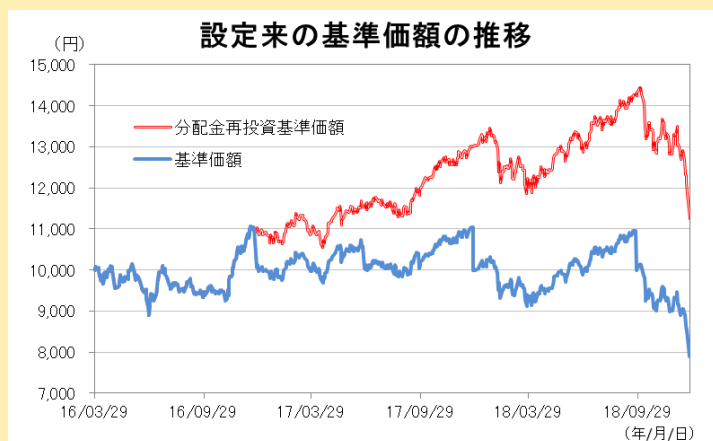
(出所) 図表1, 2, 3, 4は Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

運用状況 (作成基準日 2018年12月25日)



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ

基準価額(円)	7,888
残存元本(口)	2,400,630,786
純資産総額(円)	1,893,531,652
実質株式組入比率(%)	91.0
短期金融商品その他(%)	9.0
組入銘柄数	69

決算期	分配金(円)
第10期(2018年9月26日)	950
第9期(2018年6月26日)	0
第8期(2018年3月26日)	0
第7期(2017年12月26日)	1,050
第6期(2017年9月26日)	250

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
※各決算期における分配金は1万口当たり(税引前)です。

組入上位10セクター		
セクター名	比率	
1 ヘルスケア機器・サービス	12.3%	
2 資本財	10.8%	
3 ソフトウェア・サービス	8.0%	
4 小売	7.8%	
5 公益事業	7.0%	
6 食品・飲料・タバコ	5.7%	
7 各種金融	5.6%	
8 保険	5.4%	
9 家庭用品・パーソナル用品	5.2%	
10 メディア・娯楽	3.5%	

組入上位10銘柄			
	銘柄名	セクター	比率
1	アボットラボラトリーズ	ヘルスケア機器・サービス	2.5%
2	ビザ	ソフトウェア・サービス	2.3%
3	エバーソース・エナジー	公益事業	2.1%
4	サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.0%
5	アルファベット	メディア・娯楽	2.0%
6	マコーミック	食品・飲料・タバコ	2.0%
7	オートマチック・データ・プロセッシング(ADP)	ソフトウェア・サービス	2.0%
8	マクドナルド	消費者サービス	2.0%
9	シンシナティ・ファイナンシャル	保険	1.9%
10	シェブロン	エネルギー	1.9%

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

足元の運用経過と運用方針について

足元の運用につきましては、大規模な自然災害による収益への影響が予想より小さかった保険株の買付けを行いました。一方、医薬品株の売却を行いました。

今後の米国株式市場は、短期的にはリスク回避的な動きが続くと予想されます。1月中旬以降に発表される2018年10-12月期の企業業績が、市場予想を上回る良好な内容になるかが注目されます。

当面の運用につきましては、独自の成長ストーリーを有するヘルスケア機器・サービス株を高位にウェイト付けします。また、株価の下落で割安感が高まった小売株の買付けを検討します。

以上
(作成:運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.566%（税抜1.45%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

2018年12月28日現在

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
光証券株式会社	近畿財務局長(金商)第30号	○	○		
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)